

2014年12月号 ネットワークビジネス

遺品整理の専門家を育成 認定者は約6000人

(社)遺品整理士認定協会

一般社団法人 遺品整理士認定協会(本部北海道千歳市、須田威会長)は、遺品整理の認知向上に努めている。

遺品整理とは、遺品の資産価値の鑑定や不用品の処分を行うこと。2011年9月に設立した同協会は、遺品整理業界の健全化を図るため、遺品整理士の資格制度を立ち上げた。これまでの受講者数は1万人を超え、認定者は約6000人に上る。近年は女性の受講者数が増加しているという。

遺品整理の需要が高まるにつれて、高額な料金請求や処分品の不法投棄を行う悪質な事業者が横行。そこで、同協会では消費者に対して優良事業者の紹介を行っている。

同協会のマネージャーを務める宮崎空氏は「遺品



整理は遺族の心に寄り添う仕事であり、人間関係を重視するネットワークビジネスと共通点がある。ぜひ資格を活用してほしい」と呼びかけている。